



未来の教室

～具体的な事例紹介とアイデアを生み出す実践～

予測不可能な時代。唯一無二の正解はなく、自分たちで問いをもち、正解を作っていく力をなければ養わなければなりません。未来の学校はどうなってほしいか？先進事例を学びながら、参加者みんなでアイデアを出し合い、ワクワクしながら考える機会として講座を設定しました。

講義では、学校教職員ではない立場で授業構築に関わる楽しさや苦労をお話いただきました。ワークショップでは、実際に授業のアイデアを出す練習やそれを形にするステップを学ぶことができました。 (受講者 60名)

〈研修内容〉

- 講義 演題 「未来の教室」
講師 株式会社 新閃力
代表取締役社長 尾崎 えり子 氏
- ワークショップ 「アイデアの生み出し方」



受講者アンケートから

- 未来の教室ということで、職場にどれくらい活用できるか、と思いながら参加しましたが、明日からでも取り組んでみたいことができました。(学校教職員)
- C・Sを充実させるという視点でお聞きし、とても勉強になりました。外部者視点をもった学校の内部者として、時には内部者視点をもった外部者として、子どもたちと大人が共に学び対話する場をつくることの大切さを感じました。(県・国職員)
- どんな意見にも耳を傾け、否定せず、アイデアを出し合うことは楽しいことだと思いました。校内を見ていると柔軟性がないように思うので、今回学んだアイデアの出し方を発想の転換のエクササイズとして活用したいです。(学校教職員)
- 「視点を変えてみる」「やってみる」ことを意識していきたいです。(諸団体)
- まず、アイデアを200個出す！それが足りなかった。(一般)
- とても希望を感じられるご講演でした。命を知るリアルな体験の学びを通して自他を知り、相互変容で学び合いが深まる。学びの中に遊びと余白があり、そこに軸として問いと対話による「哲学」が基盤にあると感じる内容でした。オンラインでしたが、午後のグループワークもぜひ体験してみたかったです。(一般)